

## 教授就任講演

### 2. 高齢者の排尿障害の臨床

泌尿器科学 宮川 征 男

高齢者では頻尿をきたし易いが、これは脳の排尿中枢の抑制力の減弱や男性での前立腺肥大の進行にともなう機能的膀胱容量の減少によるものであると考えられていた。

近年進歩した尿流動態検査法で検討すると、前立腺肥大症では機能的膀胱容量の減少を原因とするもの以上に、膀胱が反射傾向を帯びて頻尿をきたすものが多いことがわかった。女性については尿道の太さを客観的に評価できるカテーテルサイズ変換尿道内圧測定法を考案し、検討すると、中年以後は年齢とともに遠位部尿道が硬化し、細くなり、これが頻尿の原因となっている症例もあることがわかった。